

令和1/2年産

サトウキビ受入開始式

「12月10日」中種子町の新光糖業株式会社で、令和1/2年産サトウキビ受入開始式が開催されました。

各関係機関の代表者がテープカットを行い、出席者が見守る中、トラックによって次々と工場内にサトウキビが搬入されました。

種子島の基幹作物であるサトウキビの集荷がスタートし、約4ヶ月に渡る収穫に種子島全域が活気付きます。

今期は、ここ数年苦しめられた台風被害もなく順調に生育し、生産量135,892トン、単収6,394トンと平年並みの見込み。生産面積・栽培農家は、高齢化やここ数年の気象要因による不作で減少傾向にあり、種子島の基幹作物であるサトウキビを取り巻く状況は厳しくなっています。

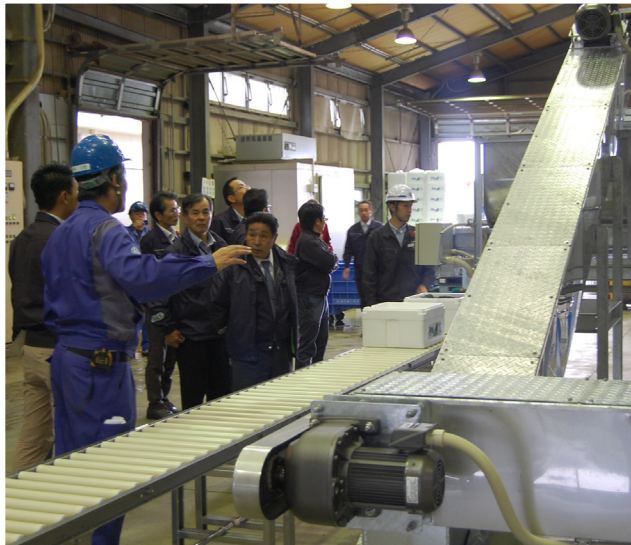
令和3年には、新品種の種苗の農家配布が予定されています。試験栽培においては、茎数が多いことが特徴で、単収・品質の向上や台風被害の軽減が見込まれています。



▲サトウキビを積み込んだトラックが次々と工場内に入っていました。

産地パワーアップ事業

製氷機完成検査



「12月19日」中種子町野菜集荷場で、令和元年度産地パワーアップ事業の製氷機完成検査が行われました。

ブロッコリーは、高収益品目として栽培面積が急増しており、30年度は販売高1億円を突破しました。

自動製氷機は、手作業の水詰めの労力削減を図るため事業導入しました。製氷能力1日5トンが2台で貯氷能力10トン。ライン化・自動搬出することによって、集出荷体制の効率化が期待されます。

農業振興に対して

県知事へ要望

「12月13日」鹿児島県庁で、農政連西之表支部と市生産組織連絡協議会が農業振興に対する知事への要望書を提出しました。

高齢化が進む中、効率的栽培管理ができる体系を構築する必要があるとして、圃場整備や農道整備などの基盤事業を計画的に実施するための予算確保や鳥獣被害防止対策、また、「はるのおうぎ」及び「こないしん」の早期普及等、6項目を要望。

県は、「地区行政の働きかけを含め、前向きに検討したい」とあり、対応が期待されるところです。



獅子座
7/23
～8/22

【全体運】 マイナス思考が現実化しやすい傾向あり。意識的に楽しいことを考えて。新しい習い事を始めると充実しそう
【健康運】 うまく自己管理できそう。マッサージ吉
【幸運を呼ぶ食べ物】 野沢菜